

---

# AWS の規範的ガイダンス

安全でスケーラブルなマルチア  
カウントAWS環境のセットアップ



## AWS の規範的ガイダンス: 安全でスケーラブルなマルチアカウントAWS環境のセットアップ

Copyright © 2022 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスは、顧客に混乱を招く可能性がある態様、または Amazon の信用を傷つけたり、失わせたりする態様において、Amazon のものではない製品またはサービスに関連して使用してはなりません。Amazon が所有していない他のすべての商標は、それぞれの所有者の所有物であり、Amazon と提携、接続、または後援されている場合とされていない場合があります。

## Table of Contents

はじめに .....	1
landing zone とは .....	2
マルチアカウントフレームワーク .....	2
landing zone 構築 .....	4
AWS Control Tower .....	5
カスタムビルドのlanding zone .....	7
推奨されるアプローチ .....	7
次のステップ .....	9
Videos .....	9
Documentation .....	9
ドキュメント履歴 .....	10
用語集 .....	11
移行の条件 .....	11
.....	xvi

# 安全でスケーラブルなマルチアカウントのセットアップAWS環境

Nivas Durairaj、Amazon Web Services (AWS)

2020年3月([ドキュメント履歴](#) (p. 10))

Organizations、大規模なガバナンスを提供しながら、俊敏性を維持するというビルダーのニーズのバランスを取る必要があります。基本基準を確立することで、ビジネスの俊敏性と大規模なガバナンスの両方を実現し、環境をプロビジョニングし、運用できるようになります。

クラウド導入を成功させるには、以下を含む安全なクラウドベースの環境が必要です。

- AnAWSマルチアカウントアーキテクチャの環境
- 初期のセキュリティベースライン
- Identity and Access Management
- ガバナンス
- データセキュリティ
- ネットワーク設計
- ログ記録

これらの機能を備えた環境を、landing zone。このガイドは、移行の実稼働環境をサポートできる、安全でスケーラブルなlanding zone 設定するのに役立ちます。

# landing zone とは

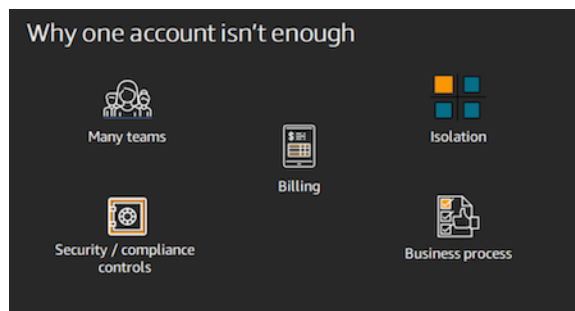
ランディングゾーンは、Well-Architected の、スケーラブルで安全なマルチアカウント AWS 環境です。これは、組織がセキュリティおよびインフラストラクチャ環境に自信を持ってワークロードとアプリケーションを迅速に起動してデプロイできる出発点です。landing zone を構築するには、組織の成長と future ビジネス目標に合わせて、アカウント構造、ネットワーク、セキュリティ、アクセス管理に関する技術的およびビジネス上の意思決定を行う必要があります。

使い始めるとAWS規模が大きくなるとAWS規範的なガイダンスと環境を確立するためのアプローチのため。AWSこの分野のベストプラクティスは、リソースとワークロードを複数に分離する必要性に重点を置いていますAWS影響軽減の分離と範囲のためのアカウント (リソースコンテナ)。次のセクションでは、複数のアカウントを使用する理由を説明します。

## マルチアカウントフレームワーク

ないが one-size-fits-all 答えはいくつですかAWS必要なアカウント。複数のアカウントを作成することをお勧めしますAWSアカウント。複数のアカウントを使用すると、最高レベルのリソースとセキュリティが分離されます。追加の作成に関する考慮事項AWS次の質問のいずれかに「はい」と答えた場合、アカウントが表示されます。

- あなたのビジネスでは、ワークロード間の管理上の分離が必要ですか？
- あなたのビジネスでは、ワークロードの可視性と検出可能性を制限する必要がありますか？
- あなたの会社では、爆発範囲を最小限に抑えるために隔離が必要ですか？
- あなたのビジネスでは、リカバリデータや監査データを強力に分離する必要がありますか？



1 つのアカウントだけでは不十分な理由は他にもあります。

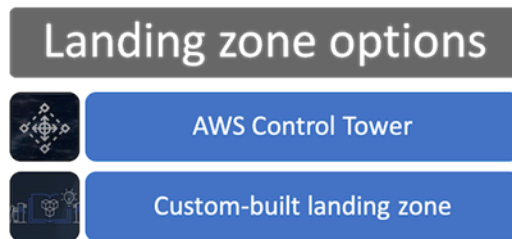
- セキュリティコントロール-アプリケーションごとに異なるセキュリティプロファイルがあり、それらの周りに異なるコントロールポリシーとメカニズムが必要になる場合があります。監査人と話をし、ペイメントカード業界 (PCI) ワークロードをホストしている単一のアカウントを参照した方が簡単です。
- 分離 - アカウントは、セキュリティ保護の単位です。潜在的なリスクとセキュリティの脅威は、他のユーザーに影響を与えずに、アカウント内に封じ込める必要があります。複数のチームによるものであれ、異なるセキュリティプロファイルによるものであれ、1つのアカウントを互いに分離する必要があるさまざまなセキュリティニーズがある可能性があります。
- データ隔離-データストアをアカウントごとに分離すると、そのデータストアにアクセスして管理できるユーザーの数を制限できます。これには、高度にプライベートなデータへの暴露が含まれており、一般データ保護規則 (GDPR) の遵守に役立ちます。
- 多数のチーム - チームごとに異なる責任とリソースニーズがあります。同じアカウントで互いに踏み越してはいけません。

- ビジネス単位単位単位-ビジネス-事業単位や製品によって目的やプロセスが異なる場合があります。ビジネス固有のニーズに合わせて異なるアカウントを確立する必要があります。
- Billing (料金)-転送料金など請求レベルで項目を分けるには、アカウントが唯一の真の方法です。複数のアカウントは、ビジネスユニット、機能チーム、または個々のユーザー間で課金レベルでアイテムを分離するのに役立ちます。
- 配分制限— 上限はアカウントごとです。ワークロードを異なるアカウントに分けることで、制限を消費したり、リソースを過剰にプロビジョニングしたりして、他のアプリケーションが意図したとおりに動作しなくなるのを防ぎます。

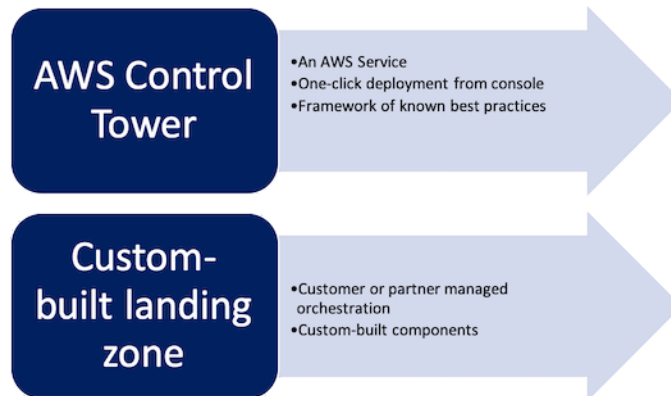
# landing zone 構築

landing zone を作成するには、いくつかのオプションがあります。AWS。マネージドサービスを選択して環境を調整することも、パートナーと協力して独自のサービスを構築することもできます。AWS 申し出 [AWS Control Tower](#)、マネージドサービス。新規のお客様にはAWS Control Tower。ただし、組織にとって最良の決定を下せるように、各アプローチの違いと機能を理解することが重要です。

ランディングゾーンのオプションAWS:



配信メカニズム:



各アプローチの利点とトレードオフ:

解決策	利点	トレードオフ
AWS Control Tower	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 完全マネージド型サービス</li> <li>• AWS-提供されたガードレールとコンプライアンスポリシーがデフォルトで適用される</li> <li>• 監視とコンプライアンスステータスの中央ダッシュボード</li> <li>• 新しいアカウントをプロビジョニングするためのアカウントファクトリ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 拡張性とカスタマイズは、<a href="#">の</a> <a href="#">カスタマイズAWS Control Tower</a>解決。</li> <li>• AWS Control TowerがサポートされていますAWSに表示されるリージョン<a href="#">AWS地域サービス</a>リスト。</li> </ul>
<a href="#">AWS Organizations</a> 顧客またはパートナーが構築したカスタムソリューション	カスタムビルドのソリューション	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 顧客またはパートナーがすべての開発とコーディングを所有しています。</li> </ul>

解決策	利点	トレードオフ
		<ul style="list-style-type: none"><li>お客様またはパートナーは、統合と実装の責任があります。</li></ul>

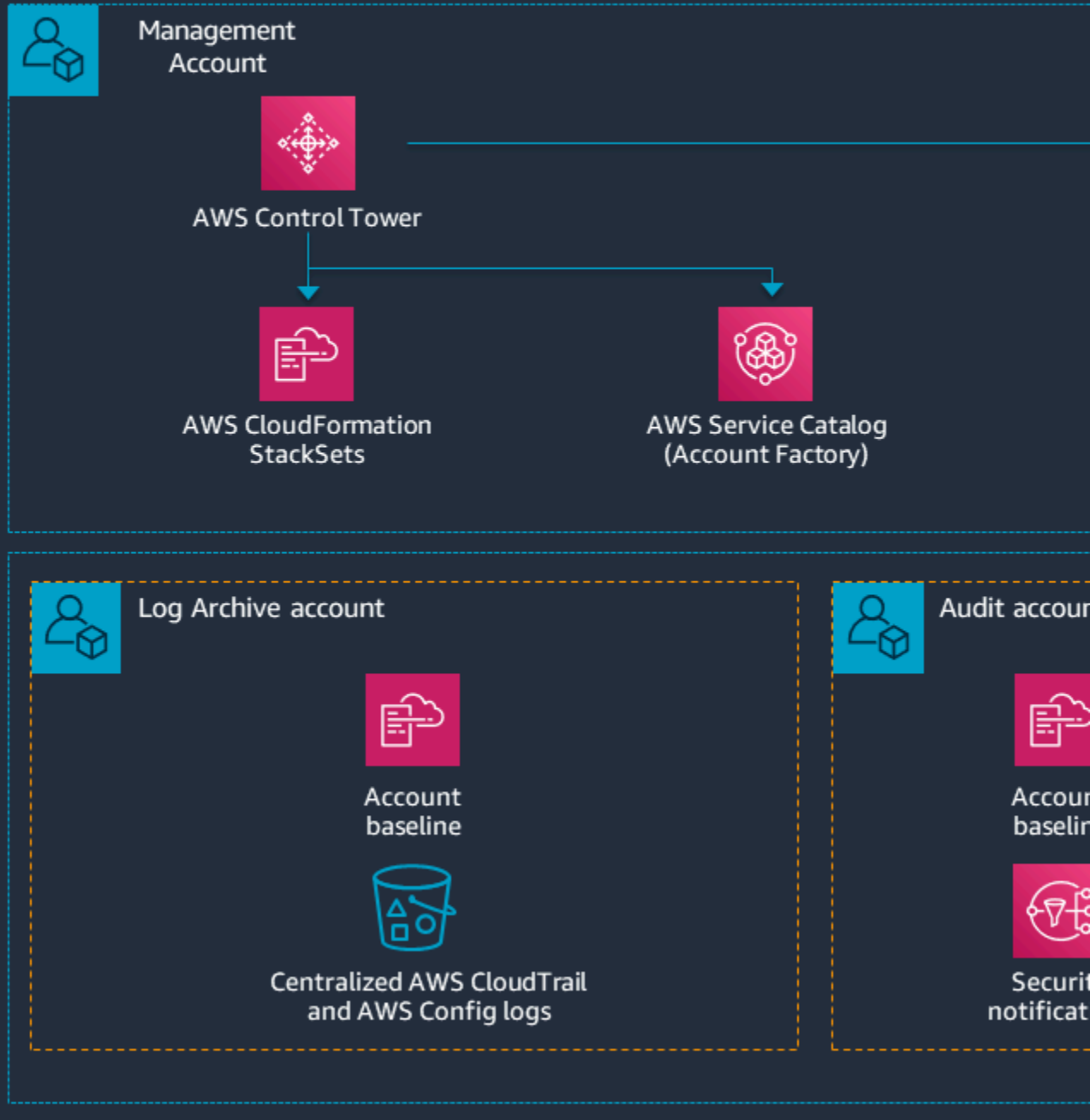
すべてのマルチアカウント環境サービスは、AWS Organizations。AWS Organizationsは、基盤となるインフラストラクチャと機能を提供し、AWS環境。とAWS Organizationsでは、以下が提供するマルチアカウント戦略ガイダンスを受けることができます。AWSビジネスのニーズに合わせて環境をカスタマイズできます。既存のものであり、現在のものに満足している場合AWS Organizations実装、あなたは現在の運用を続けるべきですAWS環境。

## AWS Control Tower

AWS Control Towerとして実行されますAWSマネージド型サービス。すぐに使えるパッケージ済みの環境ソリューションをお探しの場合は、AWS Control Tower規範的なガイダンスと完全に管理された環境のために。このサービスは、マルチアカウントのベストプラクティスに基づいてlanding zone 設定し、IDとアクセス管理を一元化し、セキュリティとコンプライアンスのための事前構成されたガバナンスルールを確立します。



# Landing Zone provision



AWS Control Towerは、ベストプラクティス、ID のブループリント、フェデレーションアクセス、およびアカウント構造を使用して、新しいlanding zone セットアップを自動化します。に実装された設計図の一部AWS Control Towerインクルード:

- を使用するマルチアカウント環境AWS Organizations
- を使用してクロスアカウントのセキュリティ監査AWS Identity and Access Management(IAM) とAWS IAM Identity Center (successor to AWS Single Sign-On)
- Identity Center のデフォルトディレクトリを使用した ID 管理
- 集中ロギングのAWS CloudTrail, およびAWS ConfigAmazon S3 (Amazon S3) に保管

ガードレールは、全体的に継続的なガバナンスを提供する高レベルのルールです。AWS環境。ガードレールは予防的でも探偵的でもあります。予防ガードレールは、の一部であるサービスコントロールポリシー (SCP、Service Control Control Control Control) を使用して実装されます。AWS Organizations。Detective ガードレールを実装するにはAWS Config RulesそしてAWS Lambda関数。の例AWS Control Towerガードレールには次のものが含まれます。

- root ユーザーのアクセスキーの作成を禁止する
- RDP 経由のインターネット接続を許可しない
- S3 バケットへのパブリック書き込みアクセスを禁止する
- Amazon Elastic Block Block Cloud ( Amazon EC2 ) インスタンスにアタッチされていない Amazon Elastic Block Cloud ( Amazon E2 ) インスタンスにアタッチされていないボリュームを許可しない

#### Note

AWS Control Towerはlanding zone 出発点です。landing zone 構築する際には、独自の要件に基づいて、ネットワーキング、アクセス管理、およびセキュリティの戦略を決定する必要があります。

## カスタムビルドのlanding zone

独自のカスタマイズされたlanding zone ソリューションを構築することを選択できます。この場合、アイデンティティとアクセス管理、ガバナンス、データ設計、ロギングを開始するには、ベースライン環境を実装する必要があります。すべての環境コンポーネントをゼロから構築する場合、またはカスタムソリューションのみがサポートできる要件がある場合は、このアプローチをお勧めします。十分な専門知識が必要ですAWS導入後のソリューションを管理、アップグレード、保守、運用します。

ただし、カスタマイズされたlanding zone 設計を行う前に、AWS Control Tower最初AWS Control Towerは、ワークロードを正常に展開するために、さまざまな業界の多くのお客様によってカスタマイズおよび使用されています。AWS。もしAWS Control Towerはカスタマイズのニーズを満たしていません。試してくださいAWSランディングゾーン。これは、以下に基づくlanding zone 実装です。AWS CloudFormation。

## 推奨されるアプローチ

新しいランディングゾーンはすべて、AWS Control Tower。AWS Control Tower初期規範的なlanding zone 構成を構築するのに役立ちます。 out-of-the-box [ガードレール](#)と設計図を作成し、を使用して新しいアカウントを作成します[AWS Control TowerAccount](#)。

カスタムのガードレールとブループリントが必要な場合は、を参照してください。[のカスタマイズAWS Control Tower](#)のカスタマイズAWS Control Towerlanding zone。このリファレンス実装は、AWS Control Tower該当する状況に応じてlanding zone カスタマイズをプッシュするライフサイクルイベントと通知機能AWS Control Towerライフサイクルイベント。

あなたが既存の場合AWS Control Tower顧客、あなたは両方ともネイティブですAWS Control Towerライフサイクルイベントと、カスタマイズのニーズをサポートするために利用できるカスタマイズのリファ

AWS の規範的ガイダンス 安全でスケーラブル  
なマルチアカウントAWS環境のセットアップ  
推奨されるアプローチ

---

レンス実装。お客様はそのリファレンス実装のデプロイするだけで済みますAWS CloudFormationテンプレート  
を既存のAWS Control Towerアカウント。

# 次のステップ

これで、AWS のランディングゾーンについてよりよく理解しました。さらに質問がある場合、またはランディングゾーン構築を始めたい場合は、AWS アカウントチームに連絡を取りサポートを求めてください。

追加のレビューと詳細については、次のセクションにリンクされているドキュメントと動画をご覧ください。

## Videos

- [ランディングゾーン全体のセキュリティとガバナンスのアーキテクチャの設計](#)
- [AWS Control Tower とは](#)

## Documentation

- [AWS Control Tower](#)
- [AWS Control Tower ガードレール](#)
- [AWS Control Tower のカスタマイズ](#)
- [AWS Organizations](#)
- [AWS Organizations サービスコントロールポリシー](#)
- [Account Factory](#)
- [AWS CloudFormation](#)
- [Service Catalog](#)

# ドキュメント履歴

このガイドは、このドキュメントの大きな変更点をまとめたものです。今後の更新に関する通知を受け取る場合は、[RSS フィード](#)をサブスクライブできます。

変更	説明	日付
<a href="#">初版発行 (p. 10)</a>	—	2020 年 3 月 16 日

# AWS 規範的ガイダンスの用語集

以下は、AWS規範的ガイダンスによって提供される戦略、ガイド、およびパターンで一般的に使用される用語です。エントリを提案するには、用語集の最後のフィードバックの提供リンクを使用します。

## 移行の条件

### 7 Rs

アプリケーションをクラウドに移行するための7つの一般的な移行戦略。これらの戦略は、ガートナーが2011年に特定した5Rsに基づいて構築され、以下で構成されています。

- リファクタリング/アーキテクチャの再設計 — クラウドネイティブ特徴を最大限に活用して、俊敏性、パフォーマンス、スケーラビリティを向上させ、アプリケーションを移動させ、アーキテクチャを変更します。これには、通常、オペレーティングシステムとデータベースの移植が含まれます。例: オンプレミスの Oracle データベースを Amazon Aurora PostgreSQL 互換エディションに移行する。
- リプラットフォーム (リフトアンドリシェイプ) — アプリケーションをクラウドに移行し、クラウド機能を活用するための最適化レベルを導入します。例: お客様のオンプレミスの Oracle データベースをAWSクラウドの Oracle 用の Amazon Relational Database Service (Amazon RDS) に移行する。
- 再購入 (ドロップアンドショップ) — 通常、従来のライセンスから SaaS モデルに移行して、別の製品に切り替えます。例: 顧客関係管理 (CRM) システムを Salesforce.com に移行する。
- リホスト (リフトアンドシフト) — クラウド機能を活用するための変更を加えずに、アプリケーションをクラウドに移行します。例: お客様のオンプレミスの Oracle データベースをAWSクラウドの EC2 インスタンス上の Oracle に移行する。
- 再配置 (ハイパーバイザーレベルのリフトアンドシフト) — 新しいハードウェアの購入、アプリケーションの書き換え、お客様の既存のオペレーションの変更を行うことなく、インフラストラクチャをクラウドに移行できます。この移行シナリオは AWS の VMware Cloud に固有のもので、お客様のオンプレミス環境と、および AWS の間の仮想マシン (VM) 互換性とワークロードの移植性をサポートします。インフラストラクチャを AWS の VMware Cloud に移行するときに、お客様のオンプレミスのデータセンターから VMware Cloud Foundation テクノロジーを使用できます。例: の Oracle データベースをホストしているハイパーバイザーを VMware Cloud 上に再配置するAWS。
- 保持 (再アクセス) — アプリケーションをお客様のソース環境で保持します。これには、主要なリファクタリングを必要とするアプリケーションや、お客様がその作業を後日まで延期したいアプリケーション、およびそれらを行き移るためのビジネス上の正当性がないため、お客様が保持するレガシーアプリケーションなどがあります。
- 使用停止 — お客様のソース環境で不要になったアプリケーションを停止または削除します。

### アプリケーションポートフォリオ

アプリケーションの構築と維持にかかるコスト、およびそのビジネス価値を含む、組織が使用する各アプリケーションに関する詳細情報の集まり。この情報は、[ポートフォリオの検出と分析プロセス](#)の需要要素であり、移行、モダナイズ、最適化するアプリケーションを特定し、優先順位を付けるのに役立ちます。

### AI オペレーション (AIOps)

機械学習技術を使用して運用上の問題を解決し、運用上のインシデントと人の介入を減らし、サービス品質を向上させるプロセス。AWS 移行戦略での AIOps の使用方法については、[オペレーション統合ガイド](#)を参照してください。

## AWS クラウド導入フレームワーク (AWS CAF)

組織がクラウドに正常に移行するための効率的で効果的な計画を立てるのを支援する AWS からのガイドラインとベストプラクティスのフレームワーク。AWSCAF は、ビジネス、人材、ガバナンス、プラットフォーム、セキュリティ、運用の観点と呼ばれる 6 つの重点を置く分野にガイダンスを編成しています。ビジネス、人材、ガバナンスの観点では、ビジネススキルとプロセスに重点を置き、プラットフォーム、セキュリティ、オペレーションの視点は技術的なスキルとプロセスに焦点を当てています。例えば、人材の観点では、人事 (HR)、人材派遣機能、および人材管理を扱うステークホルダーを対象としています。この観点から、AWS CAF は、クラウドの導入を成功させるための組織の準備を支援するために、人材開発、トレーニング、コミュニケーションに関するガイダンスを提供します。詳細については、[AWS CAF ウェブサイト](#) と [AWS CAF のホワイトペーパー](#) を参照してください。

## AWS ランディングゾーン

ランディングゾーンは、Well-Architected の、スケーラブルで安全なマルチアカウント AWS 環境です。これは、組織がセキュリティおよびインフラストラクチャ環境に自信を持ってワークロードとアプリケーションを迅速に起動してデプロイできる出発点です。ランディングゾーンの詳細については、[安全でスケーラブルなマルチアカウント AWS 環境のセットアップ](#) を参照してください。

## AWS ワークロード資格フレームワーク (AWS WQF)

データベース移行ワークロードを評価し、移行戦略を推奨し、作業の見積もりを提供するツール。AWSWQF は AWS Schema Conversion Tool (AWS SCT) と共に含まれます。データベーススキーマとコードオブジェクト、アプリケーションコード、依存関係、およびパフォーマンス特性を分析し、評価レポートを提供します。

## ビジネス継続性計画 (BCP)

大規模移行など、中断を伴うイベントが運用に与える潜在的な影響に対処し、ビジネスを迅速に再開できるようにする計画。

## Cloud Center of Excellence (CCoE)

クラウドのベストプラクティスの作成、リソースの移動、移行のタイムラインの確立、大規模変革を通じて組織をリードするなど、組織全体のクラウド導入の取り組みを推進する学際的なチーム。詳細については、AWS クラウドエンタープライズ戦略ブログの [CCoE の投稿](#) を参照してください。

## 導入のクラウドステージ

組織が、AWS クラウドへの移行時に通常実行する 4 つの段階。

- プロジェクト — 概念実証と学習を目的として、クラウド関連のプロジェクトをいくつか実行する
- 基礎固め — お客様のクラウドの導入を拡大するための基礎的な投資 (ランディングゾーンの作成、CCoE の定義、運用モデルの確立など)
- 移行 — 個々のアプリケーションの移行
- 再発明 — 製品とサービスの最適化、クラウドでのイノベーション

これらのステージは Stephen Orban が AWS クラウドエンタープライズ戦略ブログの [クラウドファーストジャーニーと導入ステージ](#) というブログ記事で定義したものです。これらが、AWS 移行戦略とどのような関係があるかについては、[移行準備ガイド](#) を参照してください。

## 構成管理データベース (CMDB)

企業のハードウェアおよびソフトウェア製品、構成、相互依存関係に関する情報を含むデータベース。通常、CMDB のデータは、移行のポートフォリオの検出と分析の段階で使用します。

## エピック

アジャイル方法論で、お客様の作業の整理と優先順位付けに役立つ機能カテゴリ。エピックでは、要件と実装タスクの概要についてハイレベルな説明を提供します。例えば、AWS CAF セキュリティエピックには、アイデンティティとアクセスの管理、検出型制御、インフラストラクチャセキュリティ、データ保護、インシデント対応が含まれます。AWS 移行戦略のエピックの詳細については、[プログラム実装ガイド](#) を参照してください。

#### 異種混在データベースの移行

別のデータベースエンジンを使用するターゲットデータベースへお客様の出典データベースの移行 (例えば、Oracle から Amazon Aurora)。異種間移行は通常、アーキテクチャの再設計作業の一部であり、スキーマの変換は複雑なタスクになる可能性があります。AWS は、スキーマの変換に役立つ [AWS SCT](#) を提供します。

#### 同種データベースの移行

お客様の出典データベースを、同じデータベースエンジンを共有するターゲットデータベース (Microsoft SQL Server から Amazon RDS for SQL Server など) に移行する。同種間移行は、通常、リホストまたはリプラットフォーム化の作業の一部です。ネイティブデータベースユーティリティを使用して、スキーマを移行できます。

#### アイドル状態のアプリケーション

90 日間の平均的な CPU およびメモリ使用率が 5~20% のアプリケーション。移行プロジェクトでは、これらのアプリケーションを廃止するか、オンプレミスに保持するのが一般的です。

#### IT 情報ライブラリ (ITIL)

IT サービスを提供し、これらのサービスをビジネス要件に合わせるための一連のベストプラクティス。ITIL は ITSM の基盤を提供します。

#### IT サービス管理 (ITSM)

組織の IT サービスの設計、実装、管理、およびサポートに関連する活動。クラウドオペレーションと ITSM ツールの統合については、「[オペレーション統合ガイド](#)」を参照してください。

#### 大規模な移行

300 台以上のサーバの移行。

#### Migration Acceleration Program (MAP)

組織がクラウドへの移行のための強力な運用基盤を構築し、移行の初期コストを相殺するのに役立つコンサルティングサポート、トレーニング、サービスを提供する AWS プログラム。MAP には、組織的な方法でレガシー移行を実行するための移行方法論と、一般的な移行シナリオを自動化および高速化する一連のツールが含まれています。

#### 移行ポートフォリオ評価 (MPA)

AWS クラウドに移行するためのビジネスケースを検証するための情報を提供するオンラインツール。MPA は、詳細なポートフォリオ評価 (サーバの適切なサイジング、価格設定、TCO 比較、移行コスト分析) および移行プラン (アプリケーションデータの分析とデータ収集、アプリケーションのグループ化、移行の優先順位付け、およびウェブプランニング) を提供します。[MPA ツール](#) (ログインが必要) は、すべての人に無料で利用できる AWS コンサルタントと APN パートナーコンサルタントです。

#### 移行準備状況評価 (MRA)

組織のクラウド対応状況に関するインサイトを獲得し、長所と短所を特定し、AWS CAF を使用して特定されたギャップを埋めるためのアクションプランを構築するプロセス。詳細については、[移行準備状況ガイド](#) を参照してください。MRAは、[AWS 移行戦略](#) の第一段階です。

#### 大規模な移行

アプリケーションポートフォリオの大部分を次々にクラウドに移行し、各ウェブでより多くのアプリケーションを高速に移動させるプロセス。この段階では、以前の段階から学んだベストプラクティスと教訓を使用して、移行ファクトリーチーム、ツール、プロセスのうち、オートメーションとアジャイルデリバリーによってワークロードの移行を合理化します。これは、[AWS 移行戦略](#) の第 3 段階です。

#### 移行ファクトリー

自動化された俊敏性のあるアプローチにより、ワークロードの移行を合理化する部門横断的なチーム。移行ファクトリーチームには、通常、運用、ビジネスアナリストおよび所有者、移行エンジニア



ア、デベロッパー、DevOps およびスプリントで作業するプロフェッショナルが含まれます。エンタープライズアプリケーションポートフォリオの 20~50% は、ファクトリーのアプローチによって最適化できる反復パターンで構成されています。詳細については、このコンテンツセットの「[移行ファクトリーの議論](#)」と「[Cloud Migration Factory ガイド](#)」を参照してください。

#### 移行メタデータ

移行を完了するために必要なアプリケーションおよびサーバーに関する情報。移行パターンごとに、異なる一連の移行メタデータが必要です。移行メタデータの例として、ターゲットサブネット、セキュリティグループ、AWS アカウントが挙げられます。

#### 移行パターン

移行戦略、移行先、および使用する移行アプリケーションまたはサービスを詳述する、反復可能な移行タスク。例: AWSApplication Migration Service を使用して Amazon EC2 への移行を再ホストする。

#### 移行戦略

ワークロードを AWS クラウドに移行するために使用するアプローチ。詳細については、この用語集の「[7 Rs \(p. 11\)](#) エントリー」と、「[組織を動員して大規模な移行を加速する](#)」を参照してください。

#### オペレーショナルレベルアグリーメント (OLA)

サービスレベルアグリーメント (SLA) をサポートするために、どの機能的 IT グループが互いに提供することを約束するかを明確にする契約。

#### オペレーション統合 (OI)

クラウドでオペレーションをモダナイズするプロセスには、準備計画、オートメーション、統合が含まれます。詳細については、[オペレーション統合ガイド](#) を参照してください。

#### 組織変更管理 (OCM)

人材、文化、リーダーシップの観点から、主要な破壊的なビジネス変革を管理するためのフレームワーク。OCM は、変化の導入を加速し、移行問題に対処し、文化や組織の変化を推進することで、組織が新しいシステムと戦略の準備と移行するのを支援します。AWS 移行戦略では、クラウド導入プロジェクトに必要な変更のスピードから、このフレームワークは 人材の高速化 と呼ばれます。詳細については、[OCM ガイド](#) を参照してください。

#### プレイブック

クラウドでのコアオペレーション機能の提供など、移行に関連する作業を取り込む、事前定義された一連のステップ。プレイブックは、スクリプト、自動ランブック、またはお客様のモダナイズされた環境を運用するために必要なプロセスや手順の要約などの形式をとることができます。

#### ポートフォリオ評価

移行を計画するために、アプリケーションポートフォリオの検出、分析、優先順位付けを行うプロセス。詳細については、「[移行準備状況ガイド](#)」を参照してください。

#### 実行責任者、説明責任者、協業先、報告先 (RACI) に基づくマトリックス

プロジェクト内のロールと責任を定義して割り当てるマトリックス。例えば、お客様が RACI を作成して、セキュリティコントロールの所有権を定義したり、移行プロジェクト内の特定のタスクの役割と責任を特定したりできます。

#### ランブック

特定のタスクを実行するために必要な手動または自動化された一連の手順。これらは通常、エラー率の高い反復操作や手順を合理化するために構築されています。

#### サービスレベルアグリーメント (SLA)

サービスのアップタイムやパフォーマンスなど、IT チームがお客様に提供すると約束したものを明示した合意書。

#### タスクリスト

ランブックの進行状況を追跡するために使用されるツール。タスクリストには、ランブックの概要と完了する必要のある一般的なタスクのリストが含まれています。各一般的なタスクには、推定所要時間、所有者、進捗状況が含まれています。

#### ワークストリーム

特定のタスクセットを担当する移行プロジェクト内の機能グループ。各ワークストリームは独立していますが、プロジェクト内の他のワークストリームをサポートしています。たとえば、ポートフォリオワークストリームは、アプリケーションの優先順位付け、ウェーブ計画、および移行メタデータの収集を担当します。ポートフォリオワークストリームは、これらの設備を移行ワークストリームで実現し、サーバーとアプリケーションを移行します。

#### ゾンビアプリケーション

平均 CPU およびメモリ使用率が 5% 未満のアプリケーション。移行プロジェクトでは、これらのアプリケーションを廃止するのが一般的です。

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。